

# I 調査結果の概要

## 1 漁業・養殖業生産量

平成 21 年の我が国の漁業・養殖業の生産量は 543 万 2,011 t で、前年に比べ 16 万 316 t (2.9%) 減少した。

このうち、海面漁業の漁獲量は 414 万 7,474 t で、前年に比べ 22 万 5,963 t (5.2%) 減少した。

これを部門別にみると、遠洋漁業は 44 万 2,917 t で、前年に比べ 3 万 928 t (6.5%) 減少、沖合漁業は 241 万 1,008 t で、前年に比べ 16 万 9,884 t (6.6%) 減少、沿岸漁業は 129 万 3,449 t で、前年に比べ 2 万 5,152 t (1.9%) 減少した。

また、海面養殖業の収穫量は 120 万 2,072 t で、前年に比べ 5 万 5,772 t (4.9%) 増加した。内水面漁業・養殖業の生産量は 8 万 2,565 t で、前年に比べ 9,926 t (13.7%) 増加した。

図 1 漁業・養殖業生産量の推移

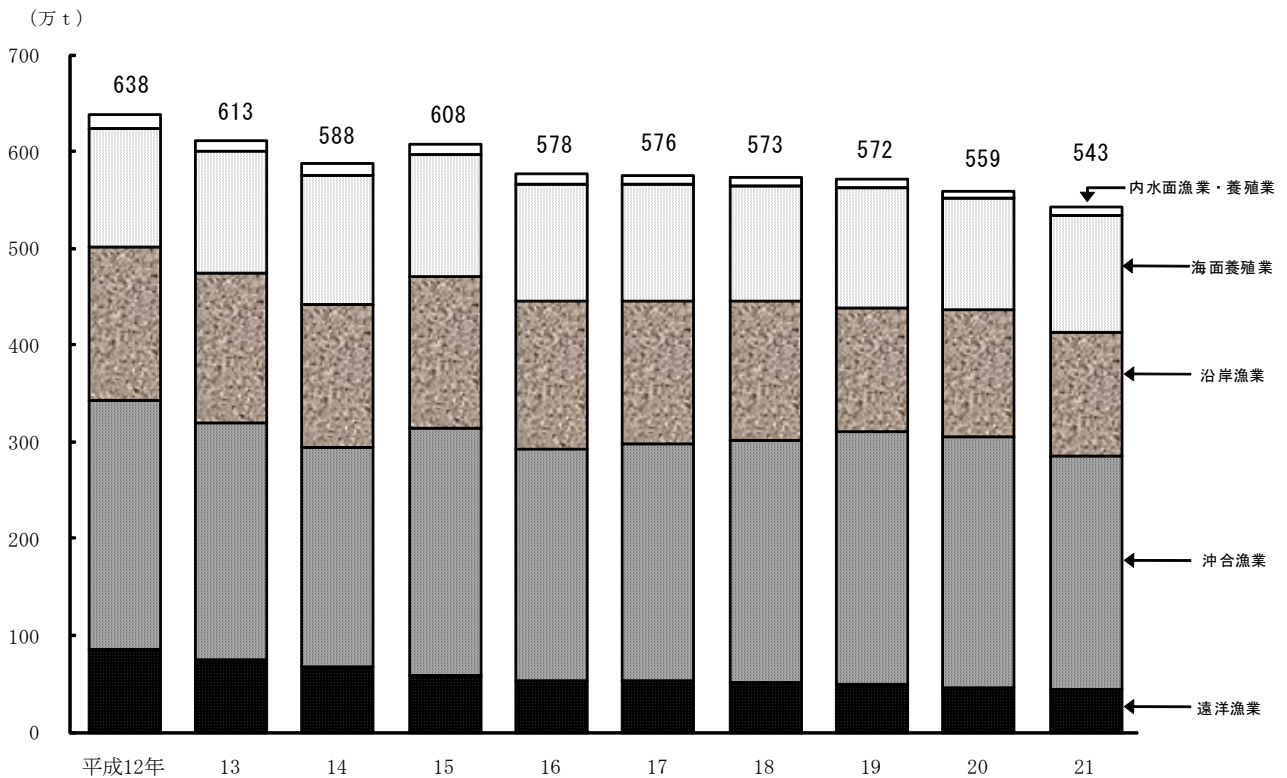




図3 海面漁業部門別漁獲量の推移

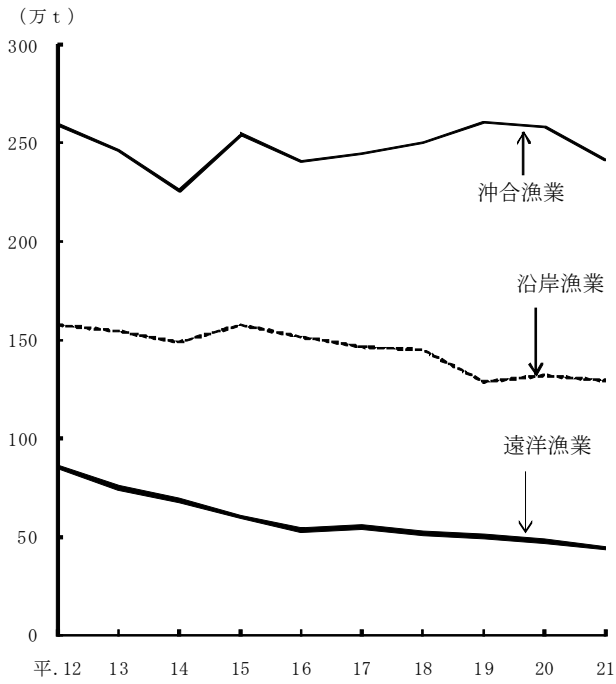


図4 遠洋漁業における主要漁業種類別漁獲量の推移

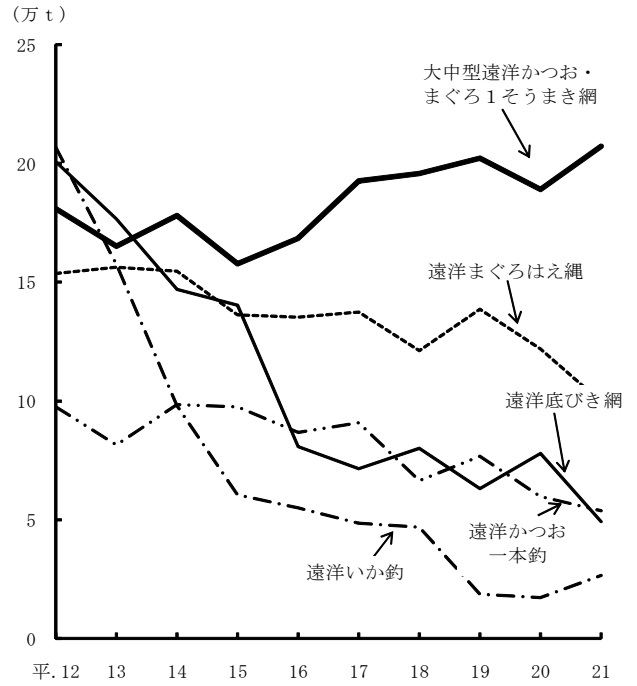


図5 沖合漁業における主要漁業種類別漁獲量の推移

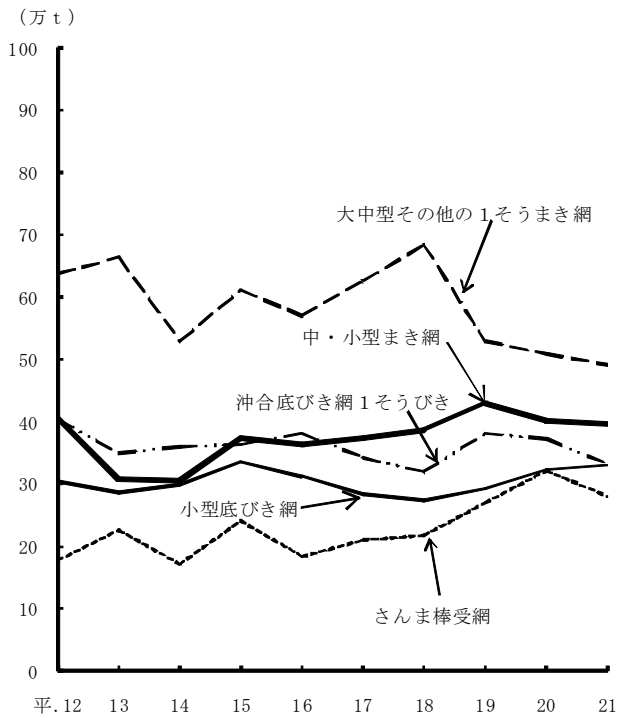
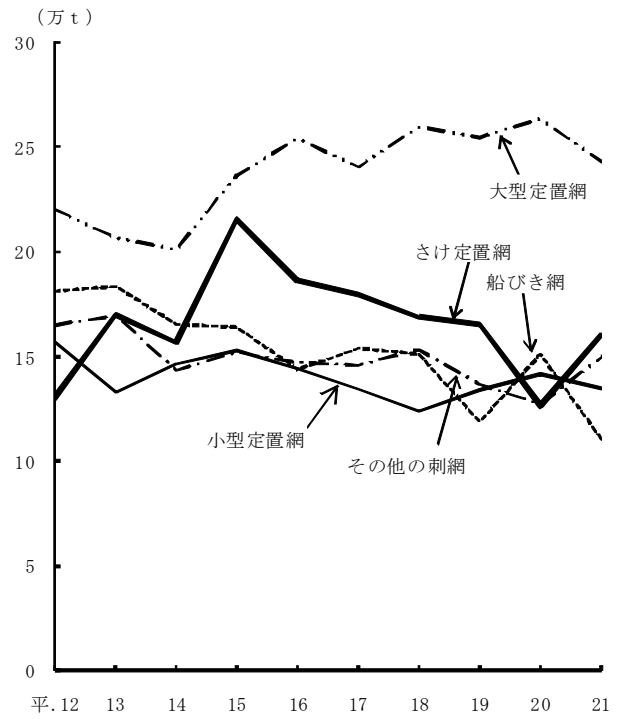


図6 沿岸漁業における主要漁業種類別漁獲量の推移

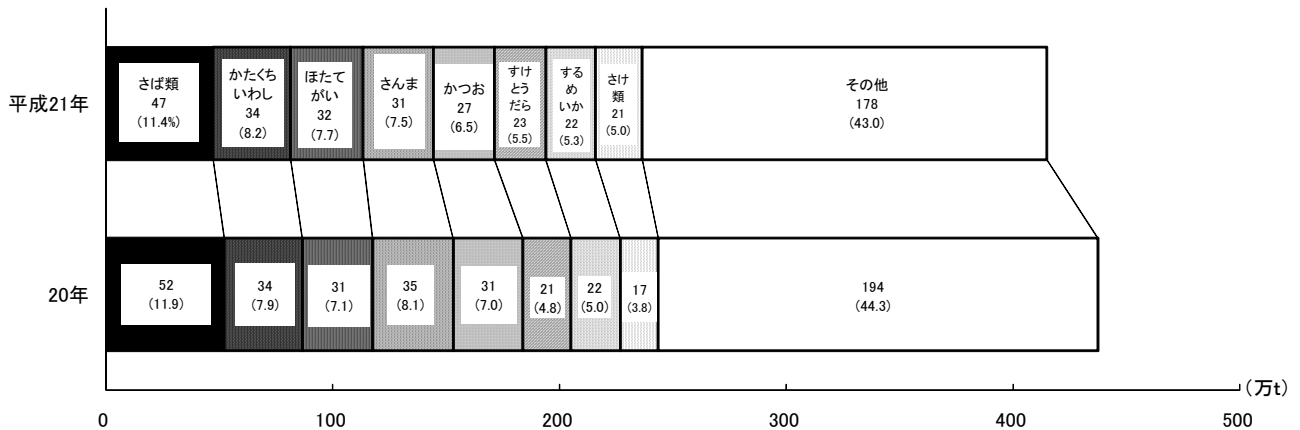


## イ 主要魚種別漁獲量

海面漁業の主要魚種のうち、漁獲量が前年に比べて増加した魚種は、さけ類、まいわし、すけとうだら、びんなが、あかいかであり、減少した魚種はほっけ、さば類、さんま、かつお、いかなごであった。

この結果、海面漁業の漁獲量に占める主要魚種の割合は、さば類が 11.4 %、かたくちいわしが 8.2 %、ほたてがいが 7.7 %、さんまが 7.5 %、かつおが 6.5 %、すけとうだらが 5.5 %、するめいが 5.3 %、さけ類が 5.0 %となった。

図 7 海面漁業主要魚種別漁獲量



### (ア) さば類

漁獲量は 47 万 904 t で、前年に比べ 4 万 9,422 t (9.5 %) 減少した。

これは、中・小型まき網等による漁獲量が増加したものの、大中型 1 そうまき網その他、大型定置網等による漁獲量が減少したためである。

### (イ) かたくちいわし

漁獲量は 34 万 1,934 t で、前年に比べ 3,055 t (0.9 %) 減少した。

これは、大中型 2 そうまき網、大型定置網等による漁獲が増加したものの、中・小型まき網、船びき網等による漁獲量が減少したためである。

### (ウ) ほたてがい

漁獲量は 31 万 9,638 t で、前年に比べ 9,433 t (3.0 %) 増加した。

これは、小型底びき網等による漁獲量が増加したためである。

### (エ) さんま

漁獲量は 31 万 744 t で、前年に比べ 4 万 3,983 t (12.4 %) 減少した。

これは、さんま棒受網等による漁獲量が減少したためである。

### (オ) かつお

漁獲量は 26 万 8,525 t で、前年に比べ 3 万 9,307 t (12.8 %) 減少した。

これは、遠洋かつお・まぐろまき網等による漁獲量が増加したものの、近海かつお・まぐろまき網、遠洋かつお一本釣等による漁獲量が減少したためである。

## (カ) すけとうだら

漁獲量は22万7,261 tで、前年に比べ1万6,223 t (7.7%) 増加した。

これは、沖合底びき網1そうびき等による漁獲量が減少したものの、その他の刺し網、大型定置網等による漁獲量が増加したためである。

## (キ) するめいか

漁獲量は21万8,658 tで、前年に比べ1,186 t (0.5%) 増加した。

これは、大型定置網等による漁獲量が減少したものの、沖合底びき網1そうびき等による漁獲量が増加したためである。

## (ク) さけ類

漁獲量は20万5,742 tで、前年に比べ3万8,245 t (22.8%) 増加した。

これは、さけ・ます流し網等による漁獲量が減少したものの、さけ定置網、小型定置網等による漁獲量が増加したためである。

図8 海面漁業主要魚種別漁獲量の推移 (上位1位～4位)

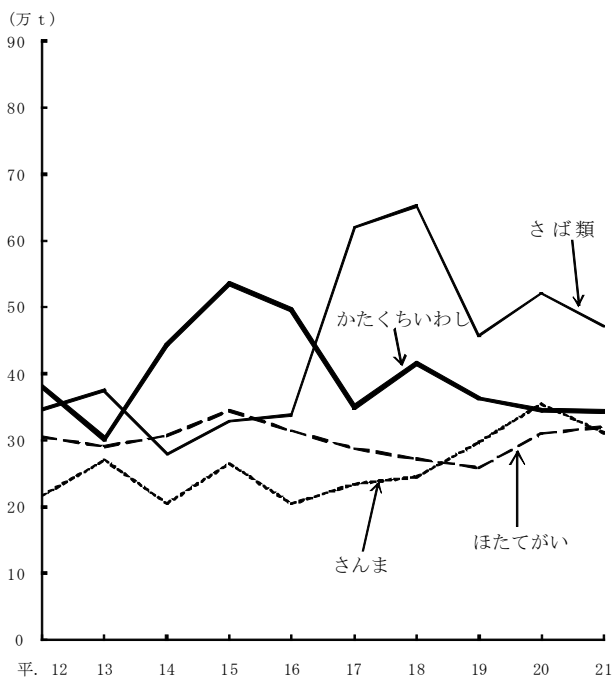
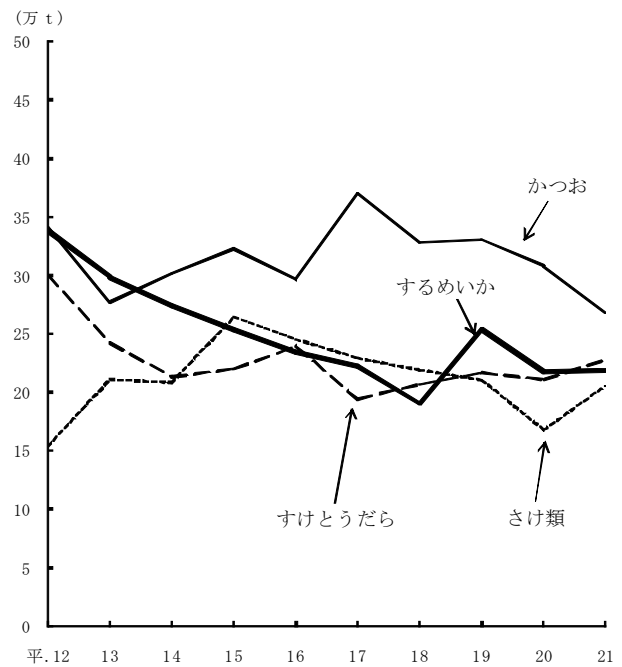


図9 海面漁業主要魚種別漁獲量の推移 (上位5位～8位)



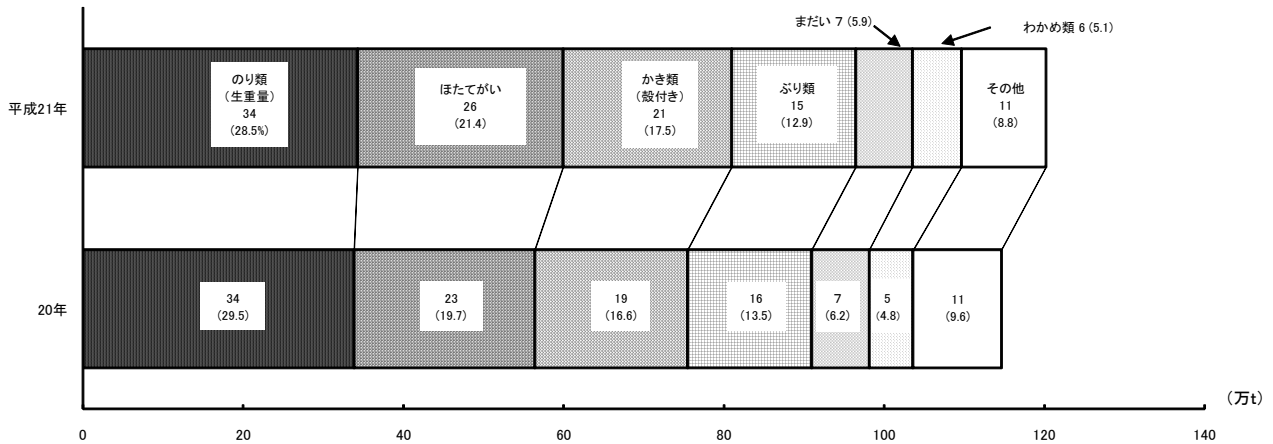
## (2) 海面養殖業

海面養殖業の収穫量は120万2,072 tで、前年に比べ5万5,772 t (4.9%) 増加した。

収穫量が前年に比べて増加した主な魚種は、ほたてがい、かき類 (殻付き) 等であり、減少した主な魚種は、こんぶ類、もずく類等であった。

この結果、海面養殖業の収穫量に占める主要魚種の割合は、のり類 28.5%、ほたてがい 21.4%、かき類 (殻付き) 17.5%、ぶり類 12.9%、まだい 5.9%、わかめ類 5.1%となった。

図 10 海面養殖業魚種別収穫量



## ア 魚類

収穫量は26万4,766 tで、前年に比べ4,634 t (1.8%)増加した。

### (ア) ぶり類

収穫量は15万4,943 tで、前年に比べ165 t (0.1%)減少した。

これは、鹿児島県、長崎県等で減少したためである。

### (イ) まだい

収穫量は7万959 tで、前年に比べ629 t (0.9%)減少した。

これは、和歌山県、三重県等で減少したためである。

### (ウ) ぎんざけ

収穫量は1万5,770 tで、前年に比べ2,961 t (23.1%)増加した。

## イ 貝類

収穫量は46万8,100 tで、前年に比べ5万810 t (12.2%)増加した。

### (ア) ほたてがい

収穫量は25万6,695 tで、前年に比べ3万1,088 t (13.8%)増加した。

これは、青森県、北海道等で増加したためである。

### (イ) かき類 (殻付き)

収穫量は21万188 tで、前年に比べ1万9,844 t (10.4%)増加した。

これは、広島県、岡山県等で増加したためである。

図 11 海面養殖業魚種別収穫量の推移（魚類）

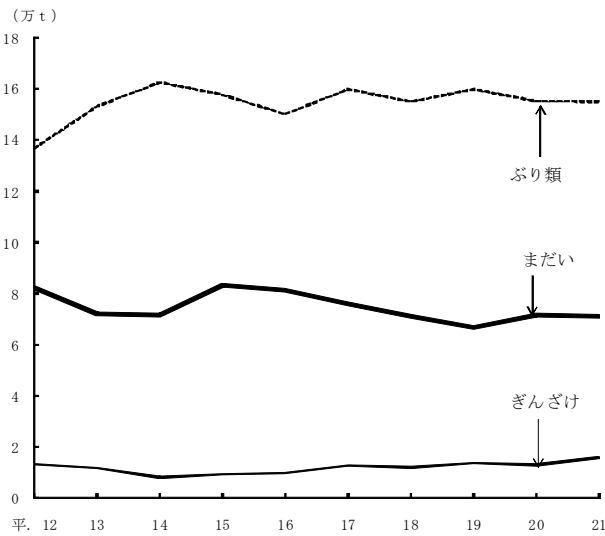
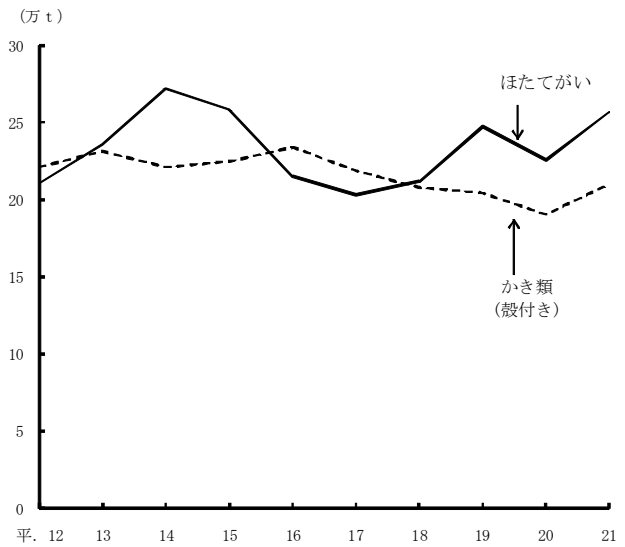


図 12 海面養殖業魚種別収穫量の推移（貝類）



## ウ 海藻類

収穫量は45万6,426 tで、前年に比べ89 t (0.0%)増加した。

### (ア) のり類(生重量)

収穫量は34万2,620 tで、前年に比べ4,097 t (1.2%)増加した。

これは、兵庫県、香川県等で増加したためである。

### (イ) わかめ類

収穫量は6万1,215 tで、前年に比べ6,306 t (11.5%)増加した。

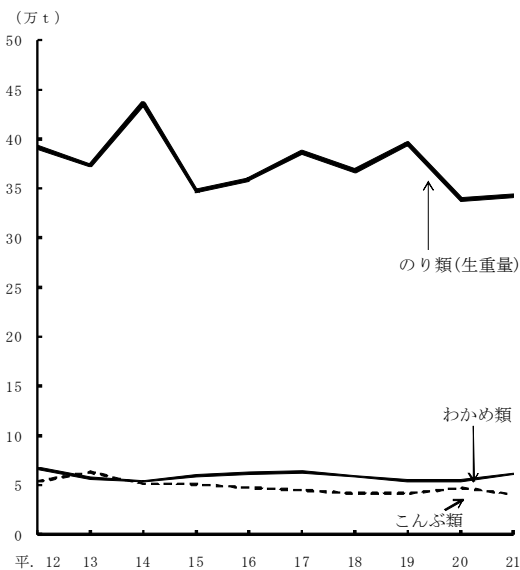
これは、宮城県、岩手県等で増加したためである。

### (ウ) こんぶ類

収穫量は4万397 tで、前年に比べ6,540 t (13.9%)減少した。

これは、岩手県、北海道等で減少したためである。

図 13 海面養殖業魚種別収穫量の推移（海藻類）





## (3) 内水面漁業

内水面漁業（全国の主要 108 河川及び 24 湖沼）の漁獲量は 4 万 1,638 t で、前年に比べ 9,011 t（27.6％）増加した。

## ア 河川・湖沼別漁獲量

河川における漁獲量は 2 万 1,744 t で、前年に比べ 4,570 t（26.6％）増加した。

また、湖沼における漁獲量は 1 万 9,894 t で、前年に比べ 4,441 t（28.7％）増加した。

## イ 主要魚種別漁獲量

## (ア) さけ類

漁獲量は 1 万 2,727 t で、前年に比べ 3,202 t（33.6％）増加した。

これは、全体の 5 割強を占める北海道をはじめ岩手県等でも増加したためである。

## (イ) しじみ

漁獲量は 1 万 432 t で、前年に比べ 601 t（6.1％）増加した。

これは、茨城県等で増加したためである。

## (ウ) あゆ

漁獲量は 3,625 t で、前年に比べ 187 t（5.4％）増加した。

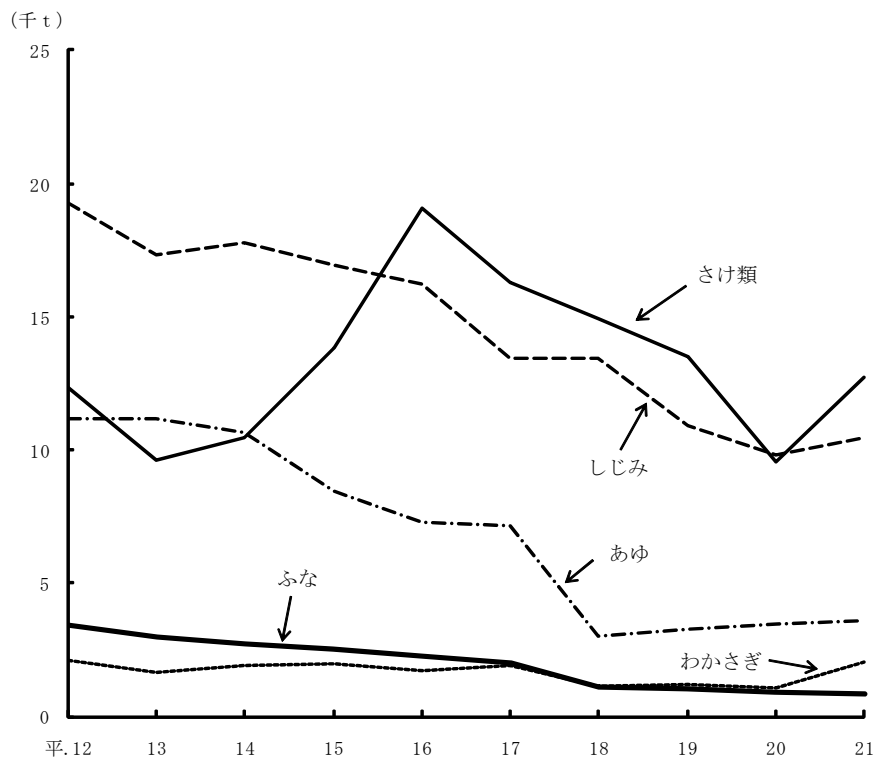
これは、茨城県等で増加したためである。

## (エ) わかさぎ

漁獲量は 2,009 t で、前年に比べ 913 t（83.3％）増加した。

これは、茨城県、青森県等で増加したためである。

図 14 内水面漁業主要魚種別漁獲量の推移



## (4) 内水面養殖業

内水面養殖業の収穫量は4万927 tで、前年に比べ915 t (2.3%) 増加した。

## ア うなぎ

収穫量は2万2,406 tで、前年に比べ1,454 t (6.9%) 増加した。

これは、愛知県等で増加したためである。

## イ にじます

収穫量は6,310 tで、前年に比べ515 t (7.5%) 減少した。

これは、山梨県等で減少したためである。

## ウ あゆ

収穫量は5,837 tで、前年に比べ103 t (1.7%) 減少した。

これは、滋賀県、和歌山県等で減少したためである。

## エ こい

収穫量は2,910 tで、前年に比べ71 t (2.4%) 減少した。

これは、福岡県等で減少したためである。

図 15 内水面養殖業主要魚種別収穫量の推移

